

ポルトガル大使館 連携講座

ポルトガル・フェスタ in 長崎2025 at ミライ on



～短篇アニメと絵本を通してポルトガルの文化と社会を知る～

参加無料！

ポルトガルでは、
アニメーション、絵本の世界で
新進気鋭の作家が次々に生まれています。

ポルトガル大使館のご協力のもと、
ポルトガル語文芸・映画字幕翻訳を行う
木下眞穂さんを案内役として、
現代の問題に鋭く切り込む作品群を
ご紹介します。



講 師：木下眞穂（ポルトガル語文芸・字幕翻訳）
と き：12月7日（日）13：30～15：30 [13：00開場]
と こ ろ：ミライ on 図書館1階 多目的ホール（大村市東本町481）
定 員：70名（小学生以上）[事前申込・先着順]

申込方法 1. ミライ on 図書館のカウンターに参加申込用紙（裏面）を持参
2. 電話 0957-48-7700（開館日の10時から18時まで）
3. 申込みフォーム

お申込はこちら→





短篇映画は本年度の「EUフィルムデーズ」（大阪、東京、名古屋、福岡、京都で実施）で上映された作品群です。

絵本『戦争は、』については、この絵本が生まれるまでの歴史的背景などについて解説します。

絵本『戦争は、』を通してみるポルトガルの歴史

世界各地で多くの賞を受け、21か国語に翻訳されている話題の絵本『戦争は、』（ジョゼ・ジョルジェ・レトリア文、アンドレ・レトリア絵、岩波書店）。父が文章を、息子が絵を担当した本作が生まれた背景をポルトガルの近代史にからめて解説します。

ポルトガル短篇アニメーションフィルム



ガラーノ（野馬）Garrano

監督：ダヴィッド・ドウテル、ヴァスコ・サ／2022／14分

ポルトガルの森を舞台に、抑えることのできない燃えさかる炎のような“生”への衝動を描く緊張と弛緩に満ちた物語。炎天下で重い荷を引くガラーノ種の馬と、森に火を放とうとする侵入者の男を目撃した少年ジョエルの視点が交錯する。日々の労働の重圧で父と対立する過酷な現実を前に、ジョエルがとった行動とは——？油絵とデジタルが融合した鮮烈なビジュアルによって、驚くほどの没入感をもって、人と自然の荒々しく野性的な“生”を描く。



ペルセバス Percebes

監督：アレシャンドラ・ラミーレス、ラウラ・ゴンサルヴェス／2024／11分

爪のような不思議な生物を起点に浮かび上がる、ポルトガルの海辺の人々と都市ポルトガルの夏の風物詩である、ペルセベ（カメノテの一種。動詞で〈理解する〉という意味ももつ）。海で生きるペルセベ、それを獲る漁師、市場の商人、レストランの従業員の語りから、ペルセベのライフサイクルを巡って段々と街の生活が見えてくる。街の人々の実際の声が登場するドキュメンタリー・アニメーション。



氷商人 Ice Merchants

監督：ジョアン・ゴンザレス／2022／14分

断崖に暮らす氷売りの親子。パラシュートで飛び降り向かう先には—断崖に建てられた極寒の家で暮らしている父と息子。彼らは毎日、はるか遠くの地上へパラシュートで飛び降り、毎日作っている氷を売りに行く。すべてが崩れそうになった時、彼らを生に繋ぎとめるものとは——？日本画を彷彿とさせるタッチのイラストレーションで心温まる親子の絆を描き、カンヌ国際映画祭2022批評家週間審査員賞を受賞。

アンケートにご回答いただいたら、もれなくポルトガルのアズレージョミニタイルをプレゼント！



ノベルティーはイメージです

お問い合わせ先
〈ミライオン図書館〉 電話：0957-48-7700
<https://miraionlibrary.jp/>
〈長崎県国際課〉 電話：095-895-2081

キトリ

ポルトガル・フェスタ in 2025長崎 at ミライオン 参加申込用紙

フリガナ 氏名		
電話番号		
参加人数	名（うち小学生	名）

ご記入いただいたご連絡先は、本イベントに関する連絡のみに使用し、イベント終了後に破棄します。